

科目名	<b>社会教育計画論 I</b>	
担当者	松下 尚明 / MATSUSHITA, Naoaki	
科目情報	人間文化<関連> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
	集中講義	
科目概要	授業内容	生涯学習時代に地域で展開されている学習活動・実践活動等の具体的様相並びにそれを支える論理を学び、望ましい社会教育計画立案の視点と方法を修得する。
	到達目標	① 「社会教育」の問題意識はどのように発生するか理解する。 ② 現場の社会教育が当面している課題を理解する。 ③ 社会教育計画立案の望ましい視点と方法を理解する。 ④ テキスト熟読により、講義と現場とを関係づけられる。 ⑤ 小論文作成により、社会教育的発想による表現ができる。
授業計画	(1) 社会教育計画の問題意識 (2) 社会教育主事のベテランとプロ (3) テキスト熟読[まえがき・第1章1節]・質疑応答・討論 (4) 地域子ども会育成に関する小論文①作成 (5) 地域社会の学び・学校の学び・地域の教育力 (6) 戦前における西志布志実業補習学校の実験 (7) テキスト熟読[第1章2節]・質疑応答・討論 (8) 青少年長期宿泊学習に関する小論文②作成 (9) PTAにおける組織論と計画論 (10) 男女共同参画社会の実現と社会教育 - 福沢諭吉の女性論を中心に (11) テキスト熟読[第1章3節]・質疑応答・討論 (12) 青少年読書活動に関する小論文③作成 (13) 地域変動に対応するコミュニティ計画 (14) 社会教育における広報・公聴 (15) テキスト熟読[第2章・第3章2節・あとがき]・質疑応答・討論 ●課題 子育てに関する小論文④作成	
自学自習	事前学習	・「使用教材(テキスト)の指定章節を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・翌日には、書き上げた小論文を提出すること。
使用教材・参考文献	【教】 松下 尚明 『子育ての周辺』 2012年 鹿児島学術文化出版 [ISBN978-4-902709-16-2] 【参】 そのつど、コピーにて紹介する。	
成績評価方法と基準	<方法> 試験 (40%) 受講態度 (20%)、小論文 (20%) とします。 <基準> 小論文4本提出を最低基準とします。	
備考	① 毎時間の講義内容に対する評価表を提出してもらう。 ② 講義内容に対する批判・意見表明を大歓迎する。	